



重度障がい児支援 花色



# NEWS LETTER

vol.59

2025.12.22



～令和7年がもうすぐ終わります～

「師走」は本当に走るように忙しく過ぎ、花色もクリスマスとお正月準備に活動はてんこ盛りです。令和7年、こども達は元気に明るくたくさんの笑顔と成長をみせてくれました。最高のこども達です。一年を振り返ると、個人的に私は「反省」が一番にでてきます。わかつていたはずなのに睡眠や食事を後回しにした結果、身体が動かなくなり復活まで1か月半、暗いトンネルの中にいたような気持ちでした。「今後は、自分の生活もきちんと管理し、ご飯も正しくたべ、より良い花色運営をします。」

そしてもう一つは反省…というよりは「心配」が起こりました。それはスタッフの“身体の痛み”です。みんな年齢が近いので、あっちでもこっちでも腰をさすり、腰ベルトやサポーターをして頑張っています。リハ職から“足腰に負担をかけない抱っこの仕方”を共有してもらいましたが、おきた痛みはどうにもならず。かといって、どんなに身体が痛くても、口をそろえるかのように「抱っこは減らしたくありません。」と言ってくれる素敵なお支援者です。この先は短時間ですが腰痛マッサージの時間を設け、無理はせず、送迎時は保護者様にもお手伝いをいただき。療育活動はこれまで通り抱っこを主とし、二名介助で支え合いたいと思います。

来る令和8年は「焦らずに足元をかためる年にします。」中でも、“地域”としっかり結びつく花色になりたいと願います。この町で、この自然の中で、みんなで子ども達を育める環境になれるように、私達から地域に発信していきます。こどもらしく豊かに安心して暮らし、発達を伸ばしていくように精進して参ります。どうか皆様も、穏やかで明るい年をお迎えください。いつも見守り、時に背中を押していただき、心より感謝とお礼申し上げます。「今年も有難うございました。」



さようなら



運転手の 大平さん です  
「12月から入りました。どうぞ、よろしくお願い致します。」



金田さんありがとうございます。  
11月末をもって退職いたしました。  
こども達に携わりたいと、あつい  
気持ちで花色に来てくれました。  
「また、あそびにきてね。」

ありがとう

ちょっぴり寂しくなりま  
すが、運転手の下村  
さんは冬休みいつ  
ぱい迄となります  
あそびに来てね。



<余市町>  
ニッカウヰスキー  
かくと徳島屋旅館

北海道

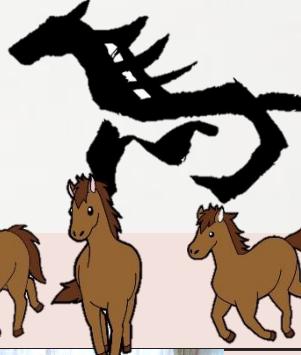
私が育った余市町。海あり山ありで、駅を降りるとニッカウヰスキー工場がひろがります。こどもの頃は工場の広い敷地を走りました。大人になっても歩いているだけで、幸せな気持ちになります。

そして、駅の目の前には「かくと徳島屋旅館」があり、土地の野菜やお魚を美味しい調理し、提供してくれます。余市の恵です。ぜひ！  
(予約制)





来年にむけて  
馬の版画作成中



わたしは  
クリスマス  
オーナメント作り！  
海みた～いキレイ



もうすぐ  
除夜の鐘



## NEWS LETTER



### ＜脳の特性を知ろう＞ カクテルパーティー効果

周囲がざわついている中でも、誰かが自分の名前を言ったり、  
自分の話しになると、すぐ気づく事ってありますよね。

意識していないのにピピっと気づくのは、  
脳が必要な情報だけをピックアップしているからです。  
これを「カクテルパーティー効果(周辺効果)」といいます。

強く意識していることがあると、誰もが見過ごすような何かに気づき、  
それがきっかけで新たな展開や可能性をもたらすことがあります。

花色でも、カクテルパーティー効果を感じる時があります。  
ぼんやりウトウト。でも遠くのスタッフが「…お祝いの準備。」の一言で、  
眠気が覚め、期待感溢れ、声の主をじっと目で追ってます。

「なりたい自分」や「やりたいこと」を意識する事が大切と聞きますよね。  
常に意識していると、チャンスを引き寄せやすくなるのは、こういう事です。

今日の  
お祝いは  
私のことね♡



### 第50回日本重症心身障害学会

第50回日本重症心身障害学会が三重県津市にて開催されました。花色は[地域・行政と育む災害対策]について発表しました。

災害を考えた時、私は＜要支援者が率先避難者になる＞ことを提案しています。

たとえば民生委員等の、地域の方に避難準備をお手伝いしていただき、交通渋滞になる前に避難することで「あの子達も避難したから、私達も避難しよう。」と地域（全体）が避難し、命を守る要になれると考えるからです。

歩けないからこそ、助けが必要だからこそ、

“気に掛ける存在”になることも一つの防災になります。自助力や決断力も自然と高まります。災害発生時、障がい児者を含む要支援者が、避難をあきらめる事がないよう願い発表してきました。

そして、帰りがけに伊勢神宮でこども達の健康祈願をして参りました。

みんな元気で幸せであります  
ように。

